

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	77,782	13.0	8,894	27.9	9,253	27.4	5,241	2.0
2022年3月期第1四半期	68,806	5.2	12,339	538.6	12,742	482.6	5,349	362.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 13,091百万円 (1.1%) 2022年3月期第1四半期 13,237百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	26.51	
2022年3月期第1四半期	27.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	352,157	228,748	52.0
2022年3月期	362,438	224,555	49.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 183,053百万円 2022年3月期 180,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				37.00	37.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期における1株当たりの配当予想については、2022年5月12日に発表した前回予想の29円から31円に修正しております。
 詳細については本日(2022年8月4日)公表いたしました「2023年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	159,000	12.6	16,700	22.7	17,200	21.4	9,100	9.5	46.03
通期	322,000	7.0	31,700	26.9	32,300	25.3	17,300	16.7	87.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	199,699,743 株	2022年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,995,577 株	2022年3月期	1,995,577 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	197,704,166 株	2022年3月期1Q	197,704,261 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

○ 第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高77,782百万円(前年同期比13.0%増)、売上総利益27,488百万円(同3.0%減)、販売費及び一般管理費18,593百万円(同16.2%増)、営業利益8,894百万円(同27.9%減)、経常利益9,253百万円(同27.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,241百万円(同2.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、清酒は減少いたしました。焼酎、ソフトアルコール飲料、本みりんなどの増加により増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、30,941百万円(前年同期比3.9%増)となりました。売上原価は、資源価格や原材料価格の上昇の影響などもあり、23,767百万円(同7.0%増)となり、売上総利益は、7,174百万円(同5.5%減)となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費や販売促進費は増加しましたが、人件費や運送費などの減少により、6,065百万円(同0.8%減)となり、営業利益は、1,108百万円(同25.0%減)となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、英国、米国でウイスキーが引き続き増加し、清酒も増加いたしましたので、海外酒類事業の売上高は増加いたしました。海外日本食材卸事業も、海外の飲食店市場を中心に引き続き好調に推移いたしましたので、増加いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、29,371百万円(前年同期比39.4%増)となりました。売上原価は、海上輸送費の高止まりの影響などもあり、20,234百万円(同41.2%増)となり、売上総利益は、9,136百万円(同35.7%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などが増加し、6,562百万円(同31.4%増)となり、営業利益は、2,573百万円(同47.9%増)となりました。

[タカラバイオグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子医療が前年同期比で増加したものの、試薬、機器および受託は新型コロナウイルス関連の需要減少にともない、前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は、14,102百万円(前年同期比7.7%減)となりました。売上原価は、売上構成の変化等により原価率が上昇し、3,977百万円(同86.4%増)となりましたので、売上総利益は、10,124百万円(同22.9%減)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および研究開発費等が増加し、5,586百万円(同20.6%増)となり、営業利益は、4,537百万円(同46.6%減)となりました。

[その他]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、ワインの輸入販売が引き続き好調に推移したことにより、8,064百万円(前年同期比6.4%増)となりました。売上原価は、6,856百万円(同5.5%増)となり、売上総利益は、1,207百万円(同11.9%増)となりました。販売費及び一般管理費は、運送費などが増加し、474百万円(同4.6%増)となり、営業利益は、732百万円(同17.2%増)となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	対前年 増減率
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	10,654	10,821	1.6
清酒	2,500	2,395	△4.2
ソフトアルコール飲料	9,109	9,707	6.6
その他酒類	1,319	1,399	6.0
本みりん	2,131	2,251	5.7
その他調味料	2,053	2,127	3.6
原料用アルコール等	2,025	2,239	10.5
計	29,794	30,941	3.9
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	3,299	3,848	16.7
海外日本食材卸	18,064	25,980	43.8
その他	16	2,797	—
グループ内連結消去	△310	△3,256	—
計	21,068	29,371	39.4
タカラバイオグループ			
試薬	12,520	12,043	△3.8
機器	390	267	△31.3
受託	1,955	1,291	△33.9
遺伝子医療	406	499	22.9
計	15,272	14,102	△7.7
報告セグメント計	66,134	74,415	12.5
その他	7,578	8,064	6.4
セグメント計	73,712	82,479	11.9
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△4,906	△4,696	—
合計	68,806	77,782	13.0

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおります。

2. 2022年3月期までタカラバイオグループの「試薬」に含めていたGMPグレード(再生医療等製品製造用)の試薬類等の売上高を、当第1四半期連結累計期間より「遺伝子医療」に含めております。本表の前第1四半期連結累計期間の実績は、当該変更を反映して組み替えております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は222,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,745百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が17,770百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,750百万円、商品及び製品が4,497百万円、未収入金などの流動資産のその他が2,670百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は129,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、352,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,280百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は64,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,183百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が10,000百万円、未払法人税等が3,789百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は58,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、123,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,473百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は228,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,192百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5,241百万円、配当金の支払い7,315百万円により利益剰余金が2,073百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が4,958百万円、非支配株主持分が1,559百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.0%（前連結会計年度末は49.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、直近の状況を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

通期の売上高につきましては、宝酒造インターナショナルグループでは、海外日本食材卸事業において料飲店市場が好調であることに加えて小売店ルート等も堅調であり、海外酒類事業も厳しいコロナ規制下にある中国を除き好調に推移する見通しです。また円安も寄与し、期初予想を上回る見通しです。宝酒造では10月に価格改定をするため、9月に前倒し需要が発生することが予想され、上期が増収、下期は減収となりますが、通期ではほぼ計画通りとなる見通しであることから、グループ全体では期初予想を上回る見通しです。

利益面では、宝酒造インターナショナルグループでは売上高の増加により売上総利益が増加し、販売費及び一般管理費が増加するものの、営業利益は期初予想を上回る見通しです。宝酒造は、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安などによるコストアップがあるものの、価格改定と新商品等で補い、営業利益は計画通りとなる見通しです。これにより、グループ全体では営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、期初予想を上回る見通しです。

なお、タカラバイオグループは2022年5月12日に発表した前回予想を据え置いております。

業績予想の修正に関する詳細は、本日（2022年8月4日）公表いたしました「2023年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。また、各事業セグメントの予想値の詳細につきましては、「決算短信補足資料」（PAGE 8/14～13/14）をご参照ください。

(第2四半期累計期間連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月12日発表)	百万円 146,000	百万円 15,000	百万円 15,400	百万円 8,100	円 銭 40.97
今回修正予想 (B)	159,000	16,700	17,200	9,100	46.03
増減額 (B-A)	13,000	1,700	1,800	1,000	—
増減率 (%)	8.9	11.3	11.7	12.3	—
ご参考：前期実績 (2022年3月期第2四半期 累計)	141,213	21,616	21,884	10,050	50.84

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月12日発表)	百万円 301,000	百万円 30,000	百万円 30,400	百万円 16,000	円 銭 80.93
今回修正予想 (B)	322,000	31,700	32,300	17,300	87.50
増減額 (B-A)	21,000	1,700	1,900	1,300	—
増減率 (%)	7.0	5.7	6.3	8.1	—
ご参考：前期実績 (2022年3月期)	300,918	43,354	43,230	20,769	105.05

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,445	62,675
受取手形及び売掛金	70,260	72,011
有価証券	1,179	535
商品及び製品	63,172	67,670
仕掛品	2,012	2,262
原材料及び貯蔵品	7,458	6,970
その他	8,243	10,914
貸倒引当金	△449	△461
流動資産合計	232,323	222,578
固定資産		
有形固定資産	79,747	80,454
無形固定資産		
のれん	10,070	10,394
その他	5,290	5,248
無形固定資産合計	15,360	15,643
投資その他の資産		
投資有価証券	29,228	28,246
その他	5,843	5,298
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	35,006	33,480
固定資産合計	130,114	129,579
資産合計	362,438	352,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,973	20,740
短期借入金	5,497	4,907
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払酒税	7,172	6,793
未払費用	5,579	5,327
未払法人税等	6,602	2,812
賞与引当金	3,161	4,118
その他の引当金	355	310
その他	19,809	19,957
流動負債合計	79,151	64,968
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,248	15,177
リース債務	3,005	3,043
退職給付に係る負債	8,944	8,943
その他	11,531	11,276
固定負債合計	58,730	58,440
負債合計	137,882	123,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,499	2,534
利益剰余金	149,933	147,860
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	163,976	161,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,216	11,568
繰延ヘッジ損益	412	735
為替換算調整勘定	4,330	9,289
退職給付に係る調整累計額	△515	△478
その他の包括利益累計額合計	16,443	21,114
非支配株主持分	44,135	45,694
純資産合計	224,555	228,748
負債純資産合計	362,438	352,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	68,806	77,782
売上原価	40,470	50,294
売上総利益	28,335	27,488
販売費及び一般管理費	15,995	18,593
営業利益	12,339	8,894
営業外収益		
受取配当金	293	425
その他	275	258
営業外収益合計	568	683
営業外費用		
支払利息	80	75
為替差損	—	145
その他	85	103
営業外費用合計	166	324
経常利益	12,742	9,253
特別利益		
固定資産売却益	1	251
受取保険金	—	652
国庫補助金	49	—
特別利益合計	50	903
特別損失		
固定資産除売却損	45	10
製品自主回収関連損失	1,576	—
その他	49	12
特別損失合計	1,671	22
税金等調整前四半期純利益	11,122	10,134
法人税、住民税及び事業税	3,707	2,499
法人税等調整額	△437	551
法人税等合計	3,270	3,051
四半期純利益	7,851	7,083
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,502	1,841
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,349	5,241

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	7,851	7,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△332	△648
繰延ヘッジ損益	△17	323
為替換算調整勘定	5,703	6,291
退職給付に係る調整額	32	41
その他の包括利益合計	5,385	6,008
四半期包括利益	13,237	13,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,510	9,912
非支配株主に係る四半期包括利益	3,726	3,178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,548	20,994	15,272	65,814	2,991	68,806	—	68,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	245	74	0	320	4,586	4,906	△4,906	—
計	29,794	21,068	15,272	66,134	7,578	73,712	△4,906	68,806
セグメント利益	1,478	1,740	8,504	11,722	624	12,347	△7	12,339

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。

2. セグメント利益は、セグメント間取引消去9百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△16百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,734	29,336	14,101	74,172	3,610	77,782	—	77,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	207	34	0	242	4,454	4,696	△4,696	—
計	30,941	29,371	14,102	74,415	8,064	82,479	△4,696	77,782
セグメント利益	1,108	2,573	4,537	8,219	732	8,952	△57	8,894

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。

2. セグメント利益は、セグメント間取引消去25百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△83百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造	宝酒造インターナショナルグループ	タカラバイオグループ	計		
酒類	29,548	2,931	—	32,479	1,039	33,519
海外日本食材卸	—	18,063	—	18,063	—	18,063
バイオ	—	—	15,272	15,272	—	15,272
その他	—	—	—	—	1,800	1,800
顧客との契約から生じる収益	29,548	20,994	15,272	65,814	2,840	68,654
その他の収益	—	—	—	—	151	151
外部顧客への売上高	29,548	20,994	15,272	65,814	2,991	68,806

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「顧客との契約から生じる収益」にワインの輸入販売や貨物の配送サービスなどによる収益を区分しており、「その他の収益」に企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入を区分しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造	宝酒造インターナショナルグループ	タカラバイオグループ	計		
酒類	30,734	3,356	—	34,090	1,630	35,721
海外日本食材卸	—	25,980	—	25,980	—	25,980
バイオ	—	—	14,101	14,101	—	14,101
その他	—	—	—	—	1,827	1,827
顧客との契約から生じる収益	30,734	29,336	14,101	74,172	3,458	77,630
その他の収益	—	—	—	—	151	151
外部顧客への売上高	30,734	29,336	14,101	74,172	3,610	77,782

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「顧客との契約から生じる収益」にワインの輸入販売や貨物の配送サービスなどによる収益を区分しており、「その他の収益」に企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入を区分しております。